



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

自立の条件「きまり」「ルール」を守ること

本校では、子ども達の「自立」を目指した教育に取り組んでいます。

「自立」それは子ども達が将来、社会の中で、社会に適応し、自分の力で生き抜く力に他なりません。

「社会に適応する」ことの土台の一つに、「社会の法やきまりを守る」ということがあります。

言うまでもなく社会は、自分一人きりの世界ではありません。多くの様々な人々で構成されているものです。その多くの多様な人々がいる集団、社会の中で、人は一人きりでは生きてはいけません。必ず、自分以外の誰かと、他者と、社会と関わりながら生きていきます。そんな社会の中で、自分自身も、そして周りの他者も、みんながよりよく生活できるように「法律」、「きまり」や「ルール」はあります。

「自分さえ良ければ、周りのことはどうでもいい。」そんな自分勝手な自己都合による考えや判断・行動は他者に、周囲に迷惑をかけることになります。それは、社会に適応・適合できない状態だということだと思います。世の中、そんな人々ばかりになっては大変です。よりよく生きる社会が成立しなくなってしまいます。

だからこそ、例えば法を破ったものにはペナルティ（罰則、処罰）が課されます。単純に言えば、ペナルティを課すことは、法やきまり、ルールは「守らなければならないもの」ということを理解させ、身に付けさせる為の一つの手立てだということです。

学校は「小社会」です。子どもは幼い頃過ごした「家庭」という小集団から、家族以外の他人と共に過ごす保育園や幼稚園を経て、学校という「小社会」で過ごします。そこは同年齢や異年齢の様々な他者がある集団であり、その中で、他者と交わり、関わりながら様々な活動をし、経験を積み重ねながら過ごしていきます。

子ども達は今でも、実生活、実社会と関わりながら生きていますが、まだまだその多くを両親をはじめとする家族や大人に守られながらの生活です。そして一歩ずつ成長を重ね、やがて本物の社会へ巣立っていきます。だからこそ、その実社会に飛び込む前に「小社会」としての学校における集団の一員としての活動や経験が訓練として、そして学びとして必要であり、重要となってきます。（運転免許でいえば教習所の段階です。）

一般社会と同じように学校には学校としての「きまりやルール」があります。また、「交通安全のきまり」等、「命を守るために必要な社会的なきまり」もあります。「小社会」である学校においては、実社会における法律やその他のきまり、ルールと同様に、これら「学校のきまり」の意味と意義を理解させ、「きまりやルールは守らねばならない」という意識と、「きまりやルールを守ろうとする」態度を、しっかりと身に付けさせなければならないと考えます。（マナーやモラルも含めて。）

これまでも何回か次のことをお伝えしてきました。

私達の「物事に対する思考の習慣（考え方の癖）」は、幼い頃からの日々の生活の積み重ねで出来上がるものだと思います。そして、その際の思考の結果として、『行動』に表れます。幼い頃からの、そうした考え方や判断の仕方、行動の積み重ねで、将来の思考や行動の習慣が形成されるのだと思います。

小さな頃から、自分の都合だけを考えて自己中心的でわがままな言動を繰り返したり、安易にきまりを破ってしまう考え方や行動を積み重ねていくことは、大人になり社会に出てからも、同じように自己都合しか考えず、他者や社会に迷惑をかける考え方や言動をしてしまう大人になることに繋がってしまうと思っています。だからこそ、今、子どもの時こそ、失敗を繰り返しながらも「良い習慣」を積み重ねていくことが大切だと思います。



先日、地域から教えて頂いた子ども達の登下校の実態の課題に応じ、生活指導担当から全体への指導を行い、ご家庭にも「児童の安全管理について(お願い)」という文書をお届けしました。（お読み頂けたでしょうか？）

本校の子ども達は基本的にとても良い子たちです。きまりやルールを守る子ども達がほとんどと言えます。ですが残念ながら、登下校に関すること以外でも、学校や地域の中で、きまりやルールを守ろうとせず、わがままや自己都合を前面に出し、周りの友達や地域の人々にも迷惑をかけてしまう考え方や行動をしてしまうことがあることも事実です。

そんな場合は、表面的な理解や指導に終わらず、「何が、そうさせるのか」その言動の裏に潜んでいるものを深く理解しながら、子ども達を見つめ、指導をする努力を続けています。

ご家庭におかれましても、お子様の様子を把握していただくと共に、本校の「よいこのきまり」や交通安全のきまり、社会生活上のきまり等をお子様と一緒に、再確認して、話し合ってください。きまりやルール、マナーを守り、みんなが安全・安心して、楽しく豊かに過ごせるようご協力いただきますようお願いいたします。